

校内研修

桐生市立相生小学校
研修部

令和4年8月1日

「学習の主体者として、意欲的に学習に取り組む児童の育成」

研修テーマ

～理想的な個別最適な学びの追究を通して～

指導の個別化

一定の目標を全ての子どもが達成することを目指し、異なる方法などで学習を進める。

子ども一人ひとりの特性・学習進度・学習到達度等に応じ、教員は必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う。

【非認知能力】

- ・意欲
- ・メタ認知能力
- ・社会的能力...etc

【自己調整力】 =自立して学ぶ力

- ①学習の計画段階で「めあて」を考えたり、学習の見通し（方略）を考えたりする。
- ②学習の進行場面で、自らの学習自体を俯瞰して調整する。
- ③学習の結果としての目標の達成状況を自己評価する。

学習の個性化

異なる目標に向けて、学習を深め、広げる。

子ども一人ひとりの興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、教員は一人ひとりに応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う。

R4.1 学期 児童への授業
に対する 満足度調査結果

大満足 56.3% 満足
43.7% 不満 0%

個別最適な学びを目指す授業

例 自由進度学習（5年生 社会）

従来の教師主導の学習から、児童が自分にあった学び方で自ら学ぶ新しい学習方法。

授業冒頭、一般的には45分かけて行われるその時間の指導内容を10分程度にまとめて一気に教えます。その後、それぞれの子が自分のめあてを記入します。そこからは、自分に合った方法でまとめていきます。残りの5分間で今日の学習について振り返り、次回につなげます。

児童の願い

- ・自分のペースで学習したい。
- ・ICTを活用して学びたい。
- ・友達と一緒に勉強する時間を長くしたい。
- ・テストの点を上げたい。
- ・自分の興味関心のあることを学びたい。
- ・楽しく勉強がしたい。
- ・もっとよい学び方を知りたい。

教師の願い

- ・児童が積極的に参加する授業にしたい。
- ・休校になっても一人で勉強することができる児童を育てたい。
- ・勉強が好きな子を増やしたい。
- ・一人も取り残さない授業を作りたい。
- ・個別に関わる時間を増やしたい。
- ・成長する実感を味わわせたい。